



中学校
1年

つくって学ぼう！ 釘ポンポン！

泉佐野市立新池中学校

教科	技術・家庭（技術分野）	単元名	木材加工実習
----	-------------	-----	--------

本時のねらい

実習を通して、木材加工の技術についての基礎的な理解を図り、技能を身に付ける。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

製作のポイントをプレゼンテーションソフト（Google スライド）でまとめた資料を用意し、1 人 1 台タブレット PC を使って活用できるようにすることで、各自でわからないところを確認しながら作業にとり組み、木材加工に関する知識や技能の定着を図る。進捗状況確認表を作成することで、生徒と教師で進捗状況を共有し、計画的に製作を進めることも、評価をおこなうなどする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクター
- ・授業支援ソフト（Google Classroom）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）
- ・カメラ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○本日の作業内容を確認する。 ○技能の説明資料をもとに、本時で使う新しい技能である「釘打ち」について確認する。	・ 授業支援ソフト(Google classroom)に、プレゼンテーションソフト(Google スライド)で作成した「木材加工実習作業進捗確認表」を生徒にコピーして配付しておく。 ・ 「木材加工実習作業進捗確認表」には、各回の新しい技能の説明資料を一緒に載せ、今回どのような作業が追加されたかがわかりやすいようにしておく。
展開 (30分)	○技能の説明資料を見ながら、各自の進度に合わせて作業を進める。	・ 技能の説明資料はすべて授業支援ソフト(Google classroom)に載せ、作業を進めていく中で、必要なときにいつでも資料をすぐに出すことができるようにしておく。
まとめ (10分)	○作業がどこまで進んだかがわかる写真を、タブレット PC のカメラ機能を使って撮影する。「木材加工実習作業進捗確認表」に添付し、本日の作業内容、次回の作業内容、本日の反省、次回への意気込みを記入して授業支援ソフト(Google classroom)に提出する。	・ 写真撮影をするときは、他の生徒が映らないようにというルールを設けている。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：本日の作業内容を確認している場面



写真 2：タブレット PC を用いて、作業の説明を見ながら自分で作業に取り組んでいる場面



写真 3：作業後、どこまで進んだかがわかるように、写真撮影をしている場面

児童生徒の反応や変容

- ・タブレット PC を活用して、技能の説明資料を確認しながら自分のペースで製作を進めることで、生徒たちの木材加工の技術に関する理解が深まった。
- ・資料に必要な情報を探して自分で課題を解決しながら製作を進めることで、自力で工夫しながら作品を完成させるという達成感を味わうことのできた生徒が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・実習系の授業では、生徒によって得意・不得意の差が出やすく、また進度も異なってくるが、授業支援ソフト(Google classroom)の中に技能の説明資料をまとめておき、ここを見ればできる、わかる、という指導の手立てを 1 つ設定しておくことで、苦手意識をもってしまいう生徒や、わからないからやる気をなくし何もしないという生徒を減らすことができた。
- ・授業支援ソフト(Google Classroom)を使うことで、膨大な量の進捗確認表をコンパクトに整理し、学習状況の評価がしやすくなった。